

# 通訳案内士制度の見直しについて

---

平成22年3月15日

観光庁観光地域振興部観光資源課

# 通訳案内士制度見直しの方向性

## 通訳案内士制度の見直しの方向性

### 案1: 引き続き通訳案内士のみ外国人旅行者へのガイドを認める

ガイドの品質が確保できるが、ピンポイントガイドニーズ、アジア言語ガイドニーズ、地方でのガイドニーズに対応できない

### 案2: 通訳案内士以外にも外国人旅行者へのガイドを認める(業務独占の廃止)

ピンポイントガイドニーズ、アジア言語ガイドニーズ、地方でのガイドニーズに対応できるが、ガイドの品質が確保できない

## 通訳案内士制度を巡る環境変化

- (1) ピンポイントのガイドニーズへの対応
- (2) 中国語・韓国語ガイドの増加が緊急に必要
- (3) 地域でのガイド育成・活用のニーズ、地域の雇用創出・活性化
- (4) 政府の訪日外国人旅行者数に関する目標の前倒し(3000万人)

## 通訳案内士制度見直しの方向性

■ 政府の目標を達成する上では、優秀な通訳案内士によるガイディングのほか、ピンポイントガイド、アジア言語ガイド、地域独自ガイド等の新たな旅行者ニーズに対応することが必要であり、通訳案内士以外にも外国人旅行者への有償ガイドを認めることが必要ではないか。

■ その際、ガイドの品質確保等、業務独占の廃止によって懸念される問題点への対応方策を講ずることが重要ではないか。

# 新通訳ガイド制度におけるガイドの品質確保

優秀な通訳案内士を輩出するとともに、ピンポイントガイド、アジア言語ガイド、地域独自ガイド等、制度改革により訪日外国人旅行者を案内することになる新ガイドの品質を確保する必要があるのではないか。

## 【優秀な通訳案内士を必要とする意義】

- 訪日旅行者に対して質の高いガイディングを通じて日本の良さを伝えるという通訳案内士の役割の重要性は今後も変わらない
- 団体ツアーの案内やVIP・富裕層への案内等、高いスキルや深い知識が必要とするガイドサービスの提供には、政府としても相応の技術を持ったガイドを準備し、満足度の高い訪日旅行の実現が必要



## 通訳案内士の質の向上・確保

通訳案内士の質を向上させるために、通訳案内士を「名称独占資格」とし、引き続き国家資格として存続させてはどうか。

## 【ピンポイントガイドを認める意義】

- 専門家やボランティアガイド等の活用により、訪日旅行者ニーズに対応した専門人材育成の容易化
- 料金や利用時間の多様化によるガイドサービスの多様化・向上
- 地域における新規雇用の創出



## 新ガイドに対する国の関与(例)

### ①完全フリー

新ガイドについて、国は一切の関与を行わず、各自が自由に訪日外国人旅行者に対してガイディングを行うことができる。

### ②研修+認定

国等が行う研修を受講した者を「研修受講ガイド」として認定し、研修受講ガイドのみをガイド検索システムに登録可能とする等、質の向上に取り組んだガイドがマーケットで活用されるようにする。

## 【アジア言語ガイドを認める意義】

- 在日外国人・留学生の活用により、アジア言語ガイドを抜本的増加
- 訪日アジア人旅行者のニーズ(母国のメンタリティを理解したガイド等)に合致したガイドの輩出

## 【地域独自ガイドを認める意義】

- 広域ブロック、市区町村、観光施設単位でのガイドの充実
- 訪日旅行者のニーズ(地方への訪問者の増加等)に対応したガイドの輩出
- 地域での新規雇用の創出、地域活性化

# 悪質ガイドへの対応

特定の国からの訪日ツアーに無資格ガイド問題が発生しているが、

- ①通訳案内士の提供するサービスや料金が訪日旅行者の国民性を含んだ訪日旅行者ニーズと合致していないということ
  - ②英語に比べてアジア言語を使える者が極端に少ないこと
- 等の問題点があり、無資格ガイドを排除するだけでは通訳案内士の問題の解決にならないのではないか。

ただし、悪質ガイドによる行為は、訪日旅行者に日本の悪いイメージを植え付け、訪日インバウンド推進の支障となり得る。

こうした行為を防止するためには、両国政府や業界全体での取組みが必要ではないか。

## 【考えられる方策の例】

### ①協力体制の構築

両国の政府・業界全体で双方向でのインバウンドの推進に関する協力体制を構築することとし、有効かつ効率的な具体的方策を検討する。

### ②アジア言語ガイドの質の向上

訪日旅行者ニーズに沿ったアジア言語ガイドを増加させるために、通訳案内士試験の海外試験をアジア人が資格を取得しやすいように試験方法等を見直すとともに、登録方法についても見直しを行う。また、通訳案内士以外のガイドも含めた訪日ガイド研修を海外で実施する。

# 通訳案内士の職業の魅力の向上

通訳案内士は訪日外国人旅行者に対して、質の高いガイドングを通じて日本の良さを伝えるという重要な役割を果たしており、その役割の重要性は今後も変わらない。

このような意義に鑑みれば、制度改正後において、質が高く魅力的な通訳案内士を輩出することが重要であり、その職業としての魅力を向上させることが必要ではないか。

## 【考えられる方策の例】

### ①通訳案内士と旅行者・旅行会社等とのマッチングの促進

ガイド検索システムの改善や観光案内所での通訳案内士紹介機能の強化等を行うことで、通訳案内士の手配を希望する者等とのマッチングの向上を図る。

### ②通訳案内士向けの研修支援

ガイド団体が行う研修の充実についての取組みを支援する。

### ③通訳案内士のための手引書の作成

個人事業主の通訳案内士のために、外国人のニーズに合ったガイドングに必要なスキルやマナー等をまとめた手引書を作成する。

### ④通訳案内士に係る広報強化

日本に「通訳案内士」というcertified guideがいることを外国人旅行者、海外・国内企業等にJNTOのHP等を通じてPRし、通訳案内士の利用促進を図る。

### ⑤優秀ガイド表彰制度

優秀な通訳案内士を表彰。表彰された通訳案内士には何らかの特典付与も検討する。